

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援とらいあんぐる		
○保護者評価実施期間	令和7年2月21日		～ 令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団療育の両立。	個別療育では1対1もしくは1対2で実施し、個々の課題に取り組むとともに就学に向けて椅子に座る時間を長くしていくように時間をかけて無理なく療育を進めている。小集団療育では、サーキットを中心に様々なプログラムを行うことで個々の理解を深めたり、子どもの可能性や選択肢を広げる意識を持って支援している。	個別療育では、個々のレベルや興味にあった療育グッズの改良や検討をしていき、楽しく療育に取り組めるよう維持していく。 小集団療育では、施設内で行うメインだったため外出レクリエーションも取り入れ、活動や興味の幅を広げて行きたい。
2	法人内認定こども園と連携が密に取れるため、集団生活の体験や情報共有がしやすい。	集団生活を体験したことのないお子さんと職員と一緒に法人内の認定こども園のクラスに遊びに行き、集団生活を体験する事が出来たり、認定こども園の行事に参加したり様々な体験出来る。	現在の活動は継続していき、より個々の課題に取り組める環境を提供していく。
3	法人内に生活介護事業所、計画相談支援、障害児相談支援施設がある。	認定こども園で療育が必要になったお子さんが相談室を通して児童発達支援に繋がる仕組みが形成されている。	子ども達のお買い物体験の場所として生活事業所に行くことはあるが、これからも交流を持てるようにしていきたい。 保護者の将来の不安や心配についても事業所間で情報共有しながら力になる助言をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族やきょうだい児との交流。	設立1年目だったため、支援プログラムの確立や運営が中心になってしまい、保護者や家族支援が弱くなってしまった。	保護者やご家族が子どもと一緒に参加できるイベントや保護者同士で交流が持てる機会の提供が出来るように検討していきたい。
2	外部施設との連携。	法人内の施設(認定こども園)とは連携がとれているが、他事業所や病院との関係性が構築されていない。	主に併用利用先の施設との交流を深め、子どもの発達段階や支援の情報共有をしていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援とらいあんぐる

公表日 令和7年 3月 28日

利用児童数 24

回収数 23

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0	のびのびと活動出来る環境が整っていると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3	0	2	たくさん先生に見ただけで安心できるが、専門的な職員が増えると良いなと思った。	月に1度作業療法士が入り、子ども達の発達状況や支援方法について助言をいただいています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	0	トイレや部屋に行く際に段差が高く感じる。	建物の構造上、改善が難しい箇所がありますが、危険がないようクッションガードをつけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	4	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	1	家庭での支援についてアドバイスが欲しい。	保護者の方に気軽に相談いただける関係を築くためにも保護者の方も参加していただけるイベントの実施に向け検討していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	2	集団では難しいことも小集団で予習が出来るので、集団に入った時に取り組みやすさがある。	就園先の活動の予習、復習になるように心がけています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	1	1	0	保育園や児童以外での子ども達の交流がない。	
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	6	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	20	2	1	0	ケガをして帰ってくることもある。成長するにつれて心配でしかない。	再度、職員間で伝達漏れがないように徹底していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3	1	3	参加したことがない。	ご家族やきょうだい児の交流を持てるイベントや支援を検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	0	2	・毎回コドモンで写真付きの活動内容を送っていただけでとても安心できる。 ・写真付きなので子どもと一緒に振り返りが出来て助かります。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	3	インターホンを押した時に声を掛けられないことがある。再度確認してほしい。	併設している学童スタッフも含め、再度職員間で子ども達の安全について情報共有していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	1	0	・保育園よりとらいあんぐるに行くことを楽しみにしている。 ・同じ園の子が多く嫌がることなく楽しんで通っている。	引き続き安心して通所出来る環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	1	0	・出来るが増えていくことを楽しみにしています。 ・「今日はとらいあんぐるの日」と伝えると嬉しそうにしている。	引き続き子どもたちが通うことを楽しみにしてもらえ支援プログラムを検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	・様々な活動をしてくださるおかげで興味の幅が広がった。 ・帰宅後は表情がとても豊かで反応も良く、充実した時間を過ごせていると思う。	これからも様々な活動を通して子ども達の可能性をさらに広げて行けるプログラムを検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援とらいあんぐる					公表日	令和7年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	0	設備上バリアフリーが難しい箇所があるが、危険がないようにガードしている。	子どもに分かりやすい掲示が出来ていない部分もあるため、改善していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	職員間で意見を出し合える環境にあり、利用児に合った対応、成長を共有し、支援に活かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	職員1人ひとりが支援プログラムを確認、把握することが出来る。個々の目標についても確認しやすい環境にある。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	児発管が職員の意見を積極的に取り入れ、職員全体が把握しやすい環境になっている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	子どもの気になる点は職員間で話し合い、共通理解を深めながら支援を進めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	1	プログラムは曜日で固定せず、年間を通して児童全員が多くのプログラムに参加できるように検討し、体験の幅を広げている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	個別療育、小集団療育を主軸に取り組み、年齢や発達段階でグループ分けをするなど、より個々に適した小集団で活動をしている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	0	職員間で声を掛ける環境が整っているため、都度支援について細かい修正を行い、共有している。	正式なミーティングの場を設けられる回数が少なかったため、来年度はミーティングの時間を設ける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	0	各退勤時間に差があり全体でのミーティングは難しいが、退勤後や翌日に職員間で報告。メモにて伝達を行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	児童発達支援管理責任者が職員間の情報をまとめた上で参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	0	協力医療機関をふちのペファミリークリニックに依頼。認定こども園すこやかと連携して支援を行なっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	0	こども園とは子どものお迎え時にクラス職員と話しをするだけでなく、必要に応じて別途時間を設けて共通理解を深めている。	他事業所や小学校との連携を深めること。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	1	保護者を通じて希望する方には生活支援シート等を提供している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	0	同法人認定こども園すこやかと連携して集団生活の体験やイベントにも参加する事が出来る。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	5		来年度は保護者やきょうだい児が参加できるイベントの検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	1	見学や契約時に保護者の方に説明を実施。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	2		初年度のため保護者支援まで取り組むことが出来なかったが、保護者、ご家族との関わりを深めるためのイベントも早めに検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	コドモンを使って情報発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	0	認定子ども園すこやかの子育て事業と協力をして地域の方と交流が持てる場を提供できている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	0	9月に災害を想定した引き取り訓練を実施。	各マニュアルについて保護者に周知できていない部分もあるため、再度周知していけるよう努める。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	9月に災害を想定した引き取り訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	0	アセスメントシートを活用して各児童の状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	1	該当児なし。認定子ども園すこやかの栄養士と連携を取って対応できる環境は整えている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	事例があがった場合、すぐに話し合う機会を設けて再発防止策の検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	2	契約時に保護者に事例をあげながら説明し、同意を得ている。	職員にも契約時にどのような話しを保護者に伝えているのか、再度共有する必要がある。